

# 出資法人等経営状況報告書

## 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和6年8月23日	担当部署	文化観光部 観光振興課
-------	-----------	------	-------------

※以下は令和6年3月31日現在の内容です。

## 2 法人等の概要

法人名	ネクストリゾート上越 株式会社（旧柿崎総合開発 株式会社）		
代表者	代表取締役 田知花 康彦		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市吉川区長峰100番地		
設立年月日	平成6年7月19日		
資本金	50,000千円	市出資割合	100.0%
設立目的	当時の柿崎町が、観光事業、交流の拠点となる宿泊施設「マリンホテルハマナス」と「ハマナスふれあいセンター」の管理運営を行うために設立した。 その後、Jーホールディングス(株)（以下、「J社」という。）の事業会社を経て、令和5年4月、J社解散に伴い他の事業会社3社を合併し、社名をネクストリゾート上越(株)に変更した。併せて、市は、J社の残余財産の分配により同社の全株式を取得した。		
主な事業	(1) 上越市の所有若しくは管理する不動産及び宿泊施設、温泉施設並びにその他の施設の管理運営 (2) 宿泊施設の経営 (3) 飲食店の経営		

## 3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	4	0	4	4	0	0
監査役	0	1	1	0	0	1
計	4	1	5	4	0	1

## 4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	26	26	0
その他	54	54	0
計	80	80	0

## 5 事業実績（概要）

### 【第30期の経営状況】

- ・ 第30期（令和5年度）は、同社の前身である柿崎総合開発株式会社が、令和5年4月1日に、J社の事業会社3法人と合併した最初の事業年度であり、1法人で4施設を運営することとしたため、事業規模が大幅に拡大しました。
- ・ 売上高374,678千円、売上原価74,241千円を差し引いた売上総利益は300,437千円、経常利益は7,337千円を計上したほか、最終的な当期純利益は6,807千円を計上しました。
- ・ 市からエネルギー価格の高騰や令和6年能登半島地震による損害の補填金収入があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う指定管理料の見直しなどがあったことなどから、一定の利益を確保することができました。
- ・ また、当初掲げたJ-ホールディングスグループの再編に伴う効果については、コロナ禍等による売上高の減少はあるものの、平成30年度と比較して、販売費及び一般管理費が104,242千円減少（25.1%の減）したほか、事業所間で人員を流動させ効率化を図るなど、1法人で4施設を運営するメリットを存分に活かしており、徐々にその効果が発揮されております。

### 【第30期の主な取組】

- ・ 取締役会のみでなく、総務会議や営業会議、施設管理会議を定期的に行い、課題抽出とその対策を検討するなど、施設の収支改善や適正な管理などに取り組みました。
- ・ コンプライアンスの遵守に向け専門家と相談するなど、より適正な運営に取り組みました。

### 【平成30年度実績及び令和5年度収支計画との比較】

（単位：千円）

科目・項目	平成30年度 実績 (※1)	令和5年度 収支計画 (※1)	令和5年度 実績	令和5年度	
				平成30年度 実績対比	令和5年度 計画対比
売上高	505,004	391,505	374,678	△130,326	△16,827
施設利用料(※2)	402,976	288,602	289,823	△113,153	1,221
指定管理料	49,072	102,903	84,856	35,784	△18,047
その他(※3)	52,956	0	0	△52,956	0
売上原価	125,577	68,793	74,241	△51,336	5,448
売上総利益	378,427	322,712	300,437	△77,990	△22,275
販売費及び一般管理費	414,756	300,315	310,514	△104,242	10,199
うち人件費	227,563	161,700	162,231	△65,332	531
営業利益	△36,329	22,397	△10,077	26,252	△32,474
経常利益	△31,086	23,518	7,337	38,423	△16,181
税引前当期純利益	△32,222	23,518	7,337	39,559	△16,181

※1 平成30年度実績及び令和5年度収支計画の数値は、同社が令和4年度に策定した経営改善計画概要に記載したものです。

※2 売上高のうち、施設利用料には、飲食売上高及び売店売上高が含まれております。

※3 売上高のうちその他は、J社の経営指導料等です。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 28 期	第 29 期	第 30 期
		自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日 (旧柿崎総合開発㈱)	自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日 (旧柿崎総合開発㈱)	自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	80,400	90,185	374,678
	売上原価	12,775	14,951	74,241
	売上総利益	67,625	75,235	300,437
	販売費及び 一般管理費	77,900	84,645	310,514
	営業利益	△10,275	△9,410	△10,077
	営業外収益	10,460	9,856	17,418
	営業外費用	19	1	4
	経常利益	166	446	7,337
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	166	446	7,337
	法人税等	180	180	530
当期純利益	△15	266	6,807	
項 目		令和 4 年 3 月 31 日現在	令和 5 年 3 月 31 日現在	令和 6 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	43,036	56,368	152,848
	負 債	7,996	21,063	54,692
	純資産	35,040	35,306	98,157
	資本金	50,000	50,000	50,000
	利益剰余金	△14,960	△14,694	48,157
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

※ 令和 5 年 4 月 1 日に、他の事業会社 3 社と合併しております。

## 7 市からの財政支出等

### (1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
① 指定管理委託料	27,892	25,613	93,341	
柿崎マリンホテルハマナス	27,892	25,613	18,337	
大潟健康スポーツプラザ 鵜の浜人魚館 (※)	(42,885)	(43,640)	50,127	
吉川ゆったりの郷 (※)	(15,874)	(9,048)	7,705	
板倉保養センター (※)	(20,180)	(13,795)	17,172	
②				
③				
④				
⑤				
計	27,892	25,613	93,341	

※ 令和4年度以前は、同社の前身である柿崎総合開発㈱が柿崎マリンホテルハマナスのみ管理運営を受託していたことから、その他施設の指定管理委託料(カッコ内)は参考値としており、合計額には含んでおりません。

### (2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
① 補填金等 (※)	0	6,355	14,565	
エネルギー価格高騰補填金	0	6,355	3,980	
吉川事業所営業補償金	0	0	6,953	
能登半島地震損害補填金	0	0	3,632	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他 ( )	0	0	0	
計	0	6,355	14,565	

※ 令和3年度及び4年度は、柿崎総合開発㈱(柿崎マリンホテルハマナス)の金額です。

## 8 市以外からの補助金・助成金等

### (1) 受給額 (税込)

(単位：千円)

内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
① 障がい者トライアル雇用 助成金	0	0	360	
②				
③				
④				
⑤				
計	0	0	360	

## 9 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

- 事業計画（一部抜粋）
  - ・ 本社機能を強化し、総合的な管理運営を行う。
  - ・ 「生産性向上」をキーワードに、人時生産性・利益管理・労働時間管理の目標数値を掲げ、達成に向けて徹底的に取り組む。

#### ○ 収支計画

##### 【全社】 (単位：千円)

売上高	419,537
うち施設売上	335,184
うち指定管理料	79,415
売上原価	85,737
売上総利益	333,800
販売費及び一般管理費	322,218
うち人件費	169,733
うち水道光熱費	90,459
うち修繕費	23,034
営業利益	11,582
経常利益	12,182
税引前当期純利益	12,182

##### 【事業所別】 (単位：千円)

項目	柿崎事業所	吉川事業所	大湊事業所	板倉事業所
売上高	108,289	129,561	112,044	69,644
うち施設売上	90,850	117,236	70,621	56,477
うち指定管理料	17,439	7,386	41,423	13,167
売上原価	22,985	31,208	17,326	14,219
売上総利益	85,304	98,353	94,718	55,425
販売費及び一般管理費	79,722	94,830	94,785	52,881
うち人件費	45,600	46,457	44,787	32,889
うち水道光熱費	15,900	25,850	38,028	10,681
うち修繕費	4,400	11,520	4,560	2,554
営業利益	5,582	3,523	△67	2,544
経常利益	5,582	3,523	137	2,940
税引前当期純利益	5,582	3,523	137	2,940

(2) 中長期経営計画

令和4年度策定 経営改善計画概要

(計画期間：令和5年度から6年度、主な記載内容は次のとおり)

基本理念

「好老社会に感謝でこたえ、新たな挑戦を続ける」

- ・ 各施設が設立時の思いに立ち返り、地域の高齢化の中でふるさとに人が集う場として変わらず存在し続け、引き続き地域に支えられることへの感謝
- ・ 創業時から大きく変化した社会の中で、第三セクターとしての新たなアイデンティティーを構築するための挑戦

経営理念

- ・ 地域の皆さんに愛される施設であり続ける。
- ・ 会社の挑戦を新たな成果に繋げる。
- ・ 従業員による改革を永続的な企業発展に繋げる。

数値目標（一部抜粋）

(単位：千円)

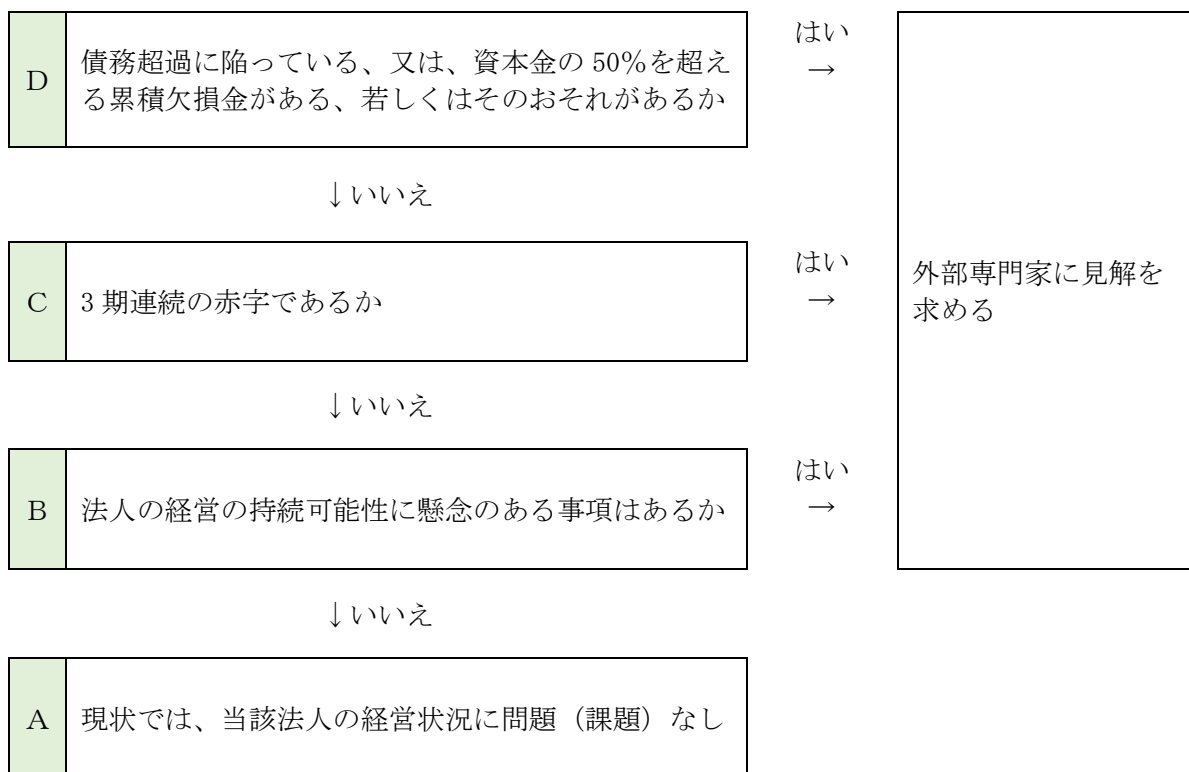
項目	H31.3期 (実績)	R6.3期 (予測)	R7.3期 (予測)
	コロナ前	合併後	合併後
総売上高	505,004	391,505	401,413
うち施設利用収入	402,976	288,602	321,865
うち指定管理料(※)	49,072	102,903	79,548
売上原価	126,577	68,793	77,004
売上総利益	378,427	322,712	324,409
販売費及び一般管理費	414,756	300,315	306,086
うち人件費	227,563	161,700	163,954
うち水道光熱費	94,260	98,800	101,200
営業利益	△ 36,329	22,397	18,323
経常利益	△ 31,086	23,518	19,444
税引前当期純利益	△ 32,222	23,518	19,444

※ 指定管理料は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少を踏まえて算定したものであり、今後の感染状況等によっては精算を行うことから、利益は変動します。

10 令和6年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクターの経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクターに対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、外部専門家に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】 特になし</p>		